

富山県福光射撃場指定管理者仕様書

富山県福光射撃場（以下「射撃場」という。）の指定管理者が行う業務の範囲及び内容等は、この仕様書による。

1 趣旨

この仕様書は、射撃場の指定管理者が行う業務の内容及び履行方法について定めることを目的とする。

2 法令等の遵守

射撃場の管理に当たっては、この仕様書のほか、次に掲げる法令等に基づき実施する。

- (1) 地方自治法
- (2) 富山県営体育施設条例
- (3) 富山県営体育施設条例施行規則
- (4) 個人情報保護に関する法律
- (5) 労働基準法、労働安全衛生法、その他労働関係法令
- (6) 銃砲刀剣類所持等取締法
- (7) 指定射撃場の指定に関する内閣府令
- (8) その他の関係法令（施設の安全確保のための各種規則法令等）

3 業務の範囲・内容

(1) 職員の配置

業務に支障のないように職員を適正に配置するとともに、育成・資質向上を図るため必要な研修等を実施すること。

(2) 有資格者等の配置

- ア 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の2第1項に基づく管理者を1人以上配置する。
- イ 同法第9条の4第1項に基づく管理者を1人以上配置する。（アと同一の者が兼ねることも差し支えない。）
- ウ 射撃の専門用語、競技規則等、射撃競技の専門的知識を有し、競技の普及と振興を推進する従事者を冬期休業中を除き、常に1人以上配置する。（ア又はイと、同一の者が兼ねることも差し支えない。）

(3) 施設の維持管理

ア 危機管理対応

(ア) 予防対策

自然災害、人為災害、事故等あらゆる緊急・非常・不測の事態に対しては危機管理体制を構築するとともに、対応マニュアルを作成し、災害時の対応について随時訓練を実施すること。また、消防署等からの指摘があった場合には、直ちに改善措置を講ずること。

(イ) 災害対応

上記災害等の際には、遅滞なく適切な措置を講じたうえ、県をはじめ関係機関へ連絡を行うこと。

(ウ) 避難所等となった場合の運営協力

施設所在市町村が避難所等として使用する際には、避難所等の管理・運営に協力すること。

イ 施設の管理業務日誌等、諸帳簿を作成し、必要に応じて県教育委員会に提出する。

ウ 健康増進法による受動喫煙防止対策として、室内は全面禁煙とする。

(4) 設備機器の維持管理

常に善良な管理者の注意義務をもって管理し、適正な利用に供するよう日常及び定期点検を行い、必要に応じて部品交換や補修・修繕を行う。

なお本仕様書は、募集に際して必要とされる業務の標準を示したものである。作業回数のない業務については、設備機器の稼動状況や施設の美観保持を勘案し、指定管理者が適宜判断して行うこと。

ア 設備機器運転管理業務

(ア) 設備機器の運転操作及び監視

(イ) 設備の維持管理（日常巡視点検、定期点検、整備補修）

(ウ) 設備に関する臨機の措置

(エ) 環境衛生管理業務

(オ) 法定検査及び報告

イ 自家用電気工作物保安管理業務

(ア) 定期点検

a 電気工作物の維持運用について、定期的な点検、測定及び試験を行い、経済産業省令に定める技術基準の規定に適合しない事項、又は適合しないおそれのあるときは、必要な措置をとる。

b 電気事故その他電気工作物に異常が発生し、又は発生するおそれのある場合、原因を調査し、応急措置を講ずるとともに、必要に応じて、電気事業法第 106 条第 4 項の規定に基づく、電気関係報告規則に定める電気事故報告の作成及び手続を行う。

c 電気事業法第 107 条第 3 項の規定に基づく立入検査の立会いを行う。

(イ) 設備容量

150 キロボルトアンペア 受電電圧 6,600 ボルト

ウ 清掃・除草業務

(ア) ライフル射撃場建物内

日常的に床面清掃、汚損部分の除去を行い、利用者が快適に施設を利用できるようにする。

(イ) 射撃場内

除草、薬剤散布等により、場内の美化環境を保つ。

エ 警備業務

射撃場内を巡視し、射撃競技以外の利用者や無断利用者へ警告する。

オ 浄化槽保守点検管理業務

(ア) 水質検査（年 1 回）

a 水素イオン濃度（PH）

b 溶存酸素量（DO）

c 透視度（SS）

d 残留塩素濃度

- e 生物化学的酸素要求量（BOD）
- (イ) 保守点検（年3回）
 - 浄化槽法及び同法施行規則第2条に定める保守点検の技術上の基準に基づく。
- (ウ) その他の業務（随時）
 - ばっ気室・沈殿室の処理機能点検、薬剤の注入、モーター機器の絶縁試験等
- (エ) 設備機器
 - 2基（20人槽、21人槽）
- カ 雪囲い等設置業務
 - (ア) ガラス面を中心に雪囲いを設置し、施設を雪害から守る。
 - (イ) 監的濠の屋根の取り外し（49m）
- キ 廃棄物処理業務
 - 使用済薬きょうを廃棄物として処理する。

(5) 利用の承認及び利用料金の徴収等

- ア 利用承認申請の受付及び案内誘導を行う。
- イ 利用承認に当たっては、次の基準により承認する。
 - (ア) 専用（団体）利用
 - 県、県教育委員会、県スポーツ協会及びその加盟団体が、主催、共催、又は主管するスポーツ大会及び各種事業を優先させる。
 - (イ) 一般利用
 - 専用利用の承認状況を鑑みて承認することとし、富山県公共施設予約システム及び電話での予約等により、随時承認する。
- ウ 射撃場の利用料金は、富山県営体育施設条例第11条第2項の規定により、同条例の別表第3で定める金額の範囲内において指定管理者が県の承認を受けて定めるものとし、徴収した利用料金は、指定管理者の収入とする。
- エ 指定管理者は、県の承認を受けて定めた基準により利用料金を減免することができるものとし、この場合は事業計画書によりその基準を提案すること。
- オ 利用者の活動等の便宜を図るため、施設備え付けの備品等を貸し出す。また、設営・利用方法がわからない利用者への支援を行う。

4 その他留意事項

(1) 県からの要請への協力

- ア 県から、施設の管理運営及び施設の現状等に関する調査の指示等があった場合には、迅速、誠実、かつ積極的な対応を行うこと。
- イ その他、県が実施又は要請する業務（県有建築物の定期点検及び緊急安全点検、防災訓練、行・催事イベント、要人案内、当該施設の管理に関する会議、監査・検査等）への参加・支援・協力・実施を積極的かつ主体的に行うこと。

(2) 県と指定管理者で協議・調整を要する事項

- 次の事項については、と指定管理者が調整又は協議を行うこと。
- ア 施設の管理運営に係る各種規程・要綱等を作成する場合
- イ 本仕様書に記載のない事項